

2019(平成31年)1月 No.137

花言葉はそれぞれの国の歴史、風習、神話や伝説などから生まれ、当然宗教的なことも関わってくるため、同じ花でも花言葉が全然違う場合があるといえます。

ピンクのネコヤナギは、「努力が報われる・親切・自由・素直」。じっくりと眺めているとそのように見えてくるのが不思議です。

内から出る力

一大イベントであるクリスマスと正月を終えて、キーンとした寒さが、一層身を引きしめ、仕事に学校にと、社会がまた慌ただしく動き始めました。華やかなクリスマスも厳かなお正月も、全ての人々がぎやかに楽しく過ごせるわけではありませんが、仮にこの日がどういう意味があり、どのように過ごすものなのかを知らなくても、クリスマスもお正月も、多くの人の心までも動かす力があります。

以前、墓前で合掌をすることを知らない子がいると耳にしました。これは問題視されることと思いますが、それでも、お墓参りはご先祖様の存在に触れることでもあり、好ましいことに違いありません。

昨年十一月に英国のロックバンド、「クイーン」の生涯を描いた映画『ボヘミアン・ラプソディ』が上映されました。四十三年前に発表された同名タイトルの曲はさみしげですが抑揚もあり、とてもきれいな旋律です。

NHKをはじめ多くの番組が、孤独と闘い、性的な事情を抱え、エイズで逝去したメンバーの一人、フレディ・マーキュリーの実話に感涙した多くの人たちを取材していました。当時高校生だった私は擦り切れるほどクイーンのレコードを聴きましたが、英語の歌詞は単に曲の一部でした。しかし、あらためて同曲の翻訳された歌詞を読み、制作の背景を知るにつけ、ようやくこの曲が私の中で息をし始めたことを感じました。

きらびやかでほのぼの、凛として穏やかな行事も、また心を動かす曲も、それだけで大きな力を感じます。でも、それらの意義や本質を知ることによって、それ自体に対するおもむきも深まり、私たちの心は豊かになるのでしょう。あらためて物事の意義を知る大切さを学びました。

皆様には、本年もご指導くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(株)溝口祭典 溝口勝巳